

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300270
事業所名	グループホームもみの木

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域行事の参加等は継続的に取り組み、地域の中の一員として 日常的に交流できるようになっている。近隣の菜園からは旬の野菜が届いたり、近所の方が庭の手入れをしてくださったりと、変わらない交流がある。以前は散歩ボランティアをしていた近所の方が、現在はパート職員として働いている事例からも、地域との信頼関係がうかがえる。中学校の職場体験受け入れ等、高齢者施設としての社会貢献も果たしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 概ね2ヶ月に1回、年6回の会議を開催している。行政担当者、地域包括支援センターが毎回出席し、ホームの実情を伝える機会としても活用がある。地域代表、家族代表の参加で、多方面からの意見交換を行い、会議で得た意見や提案を、運営に反映させている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者は扶桑町高齢者保健福祉総合計画推進委員の委嘱を受け、共に高齢者介護についてを協働している。虐待ネットワークにも参画し、積極的に情報共有を図っている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議参加やホーム行事参加時等、外部者や横のつながりの関係で意見表出の機会を作り、忌憚のない意見を聴取している。ホーム発行の新聞で、ホームの運営内容や行事内容を公表し、情報発信を果たすとともに、意見を出しやすい環境を整えている	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	